

TOYOBO NOW

| 第155期 中間報告書 | 2012年4月1日～2012年9月30日 |



特集

震災復興対策チームが 除染対応資材を開発

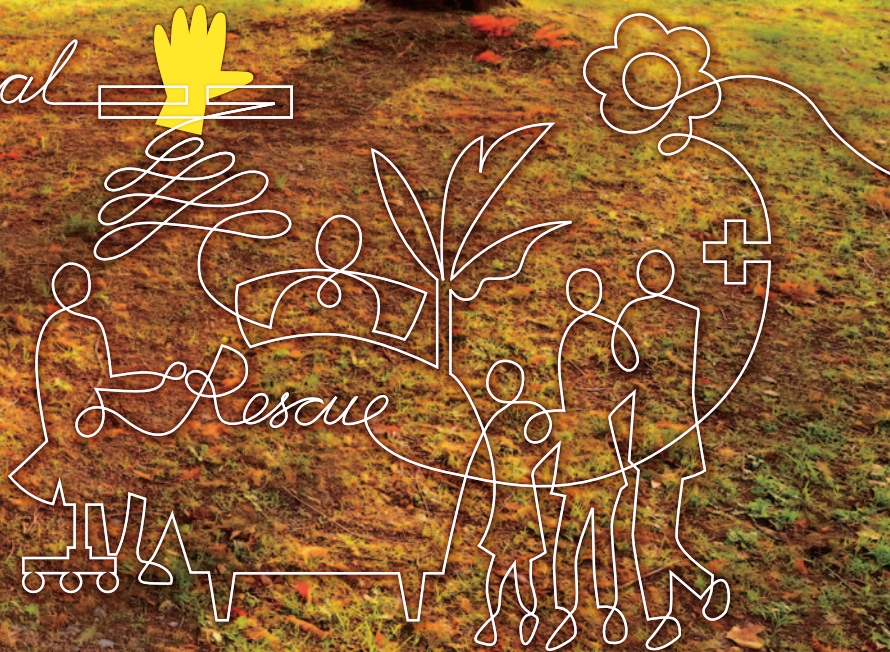
中国のエアバッグ用基布の製造・販売会社が本格稼働

ペットボトルリサイクル樹脂の使用比率
世界最高レベルのPETフィルムを開発

ポリアミンを含有する大豆胚芽由来の
化粧品原料を世界で初めて開発

損傷した神経を再生する新しい治療用医療機器
「神経再生誘導チューブ」を開発

Medical



Photograph



「1917年に竣工した日本店ビル」
大阪市北区堂島浜通（現在の本社
ビル所在地）に建築されました。青銅
ドーム型の屋根でルネッサンス風の
風格ある赤レンガの建物でした。



当社は、2012年5月に
創立130周年を迎えました

「東洋紡績」から「東洋紡」へ

当社は、事業の実態を鑑み、10月1日をもって、商号を「東洋紡績」から、すでに親しまれている呼称である「東洋紡」に変更しました。高機能を生み出すひらめき「Ideas」と、新素材を創り出す化学「Chemistry」で、これからも積極的に社会に貢献してまいります。

TOP MESSAGE

● 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、東日本大震災からの復興やエコカー補助金による消費活性化政策等の効果を背景に緩やかな回復が見られたものの、長引く円高の影響、電力供給不足への懸念等もあり、先行き不透明な状況が続きました。世界経済においても、欧州政府債務問題、これまで牽引してきた中国、アジア新興国の成長に鈍化が見られるなど景気への減速懸念が強まりました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開し、拡大に向けての事業活動を進めております。環境分野では、当社のこれまでの実績が認められ、海水淡水化用逆浸透膜がサウジアラビア最大級のプラントへ採用が決まりました。また、アジア市場に向けてVOC処理装置やバイオマス原料を使った高耐熱性成型用樹脂の用途拡大に努めました。ライフサイエンス分野では、損傷した神経の再生を促進させる国内初の治療用医療機器「神経再生誘導チューブ」の開発に成功し、販売に向けた承認申請を行いました。高機能分野では、エアバッグ用基布の中国事業、米国製造販売会社の設立など海外事業の拡大を進めるとともに、増加しているスマートフォン向けのセラミックコンデンサ用工程フィルムなどの拡販に努めました。

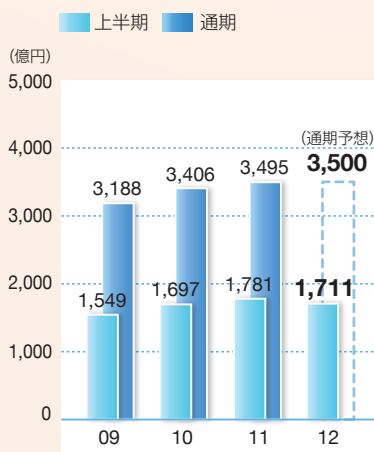
以上のように当社グループは、成長拡大のための事業課題に取り組み、様々な施策・改革を進めております。しかしながら、足元は回復基調にありますが、第1四半期の業績が厳しかったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比70億円(3.9%)減の1,711億円となり、営業利益は同34億円(30.9%)減の76億円、経常利益は同37億円(36.1%)減の65億円、四半期純利益は同25億円(48.0%)減の27億円となりました。



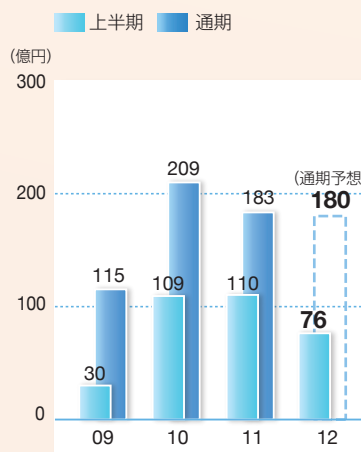
代表取締役社長 **坂元龍三**

業績ハイライト

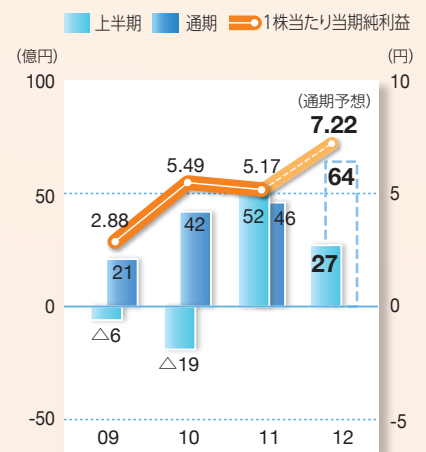
売上高



営業利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



中間配当につきましては、財務状況や財務体質の強化なども勘案して見送らせていただくことといたしました。

2012年度通期業績につきましては、第2四半期で回復しておりますが、世界的な景気動向に先行き不透明感もあることから、売上高3,500億円(前期比5億円増)、営業利益180億円

(同3億円減)、経常利益150億円(同7億円減)、当期純利益64億円(同18億円増)を予想しています。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当上半期末 (2012年9月30日現在)	前期末 (2012年3月31日現在)	科目	当上半期末 (2012年9月30日現在)	前期末 (2012年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	167,822	177,735	流動負債	162,645	162,850
固定資産	261,625	260,105	固定負債	119,879	127,267
有形固定資産	199,770	199,789	負債合計	282,525	290,116
無形固定資産	1,385	1,606	純資産の部		
投資その他の資産	60,471	58,710	株主資本	100,038	100,440
資産合計	429,447	437,841	その他の包括利益累計額	29,540	30,132
			少数株主持分	17,343	17,153
			純資産合計	146,922	147,724
			負債純資産合計	429,447	437,841

■ 四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当上半期累計 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
売上高	171,117
売上原価	135,792
売上総利益	35,325
販売費及び一般管理費	27,692
営業利益	7,633
営業外収益	2,149
営業外費用	3,305
経常利益	6,477
特別利益	345
特別損失	2,239
税金等調整前四半期純利益	4,582
法人税等	1,522
少数株主損益調整前四半期純利益	3,060
少数株主利益	357
四半期純利益	2,703

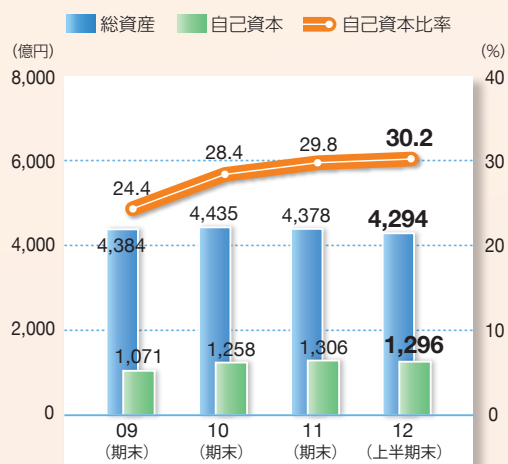
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

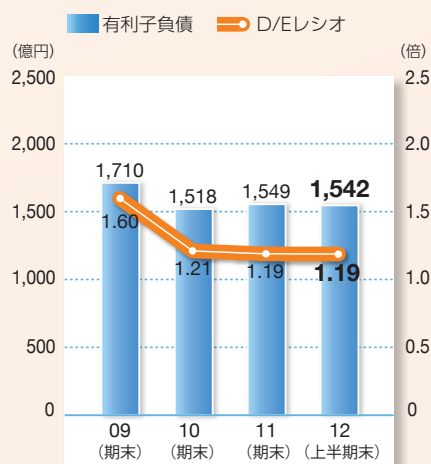
科目	当上半期累計 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,394
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,989
現金及び現金同等物の期首残高	9,481
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,804

(記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。)

総資産・自己資本・自己資本比率



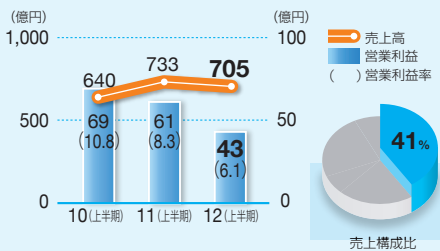
有利子負債・D/Eレシオ



事業別業績の概要

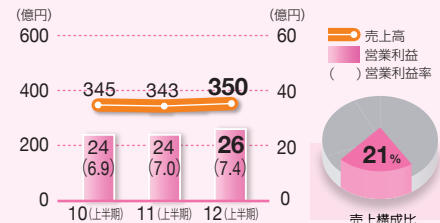
※当上半期より、ファインケミカル事業は、「ライフサイエンス事業」から「フィルム・機能樹脂事業」に区分変更しております。また、2011年度上半期につきましては同様に組み替えております。

Films & Functional Polymers フィルム・機能樹脂事業



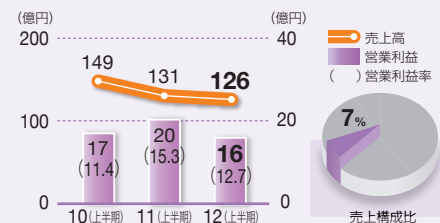
フィルム事業では、食品包装用フィルムは、東日本大震災後の需要混乱の影響で市場在庫の調整が生じ、開発品の拡販などにより足元では回復傾向にあるものの、大幅な減収となりました。工業用フィルムは、電子部品向けなどへの展開に努めました。主な用途である液晶向けではアジア向け輸出が牽引しましたが、昨年後半に下落した販売価格の影響を受けました。機能樹脂事業では、工業用接着剤「パイロン®」は、中国向けの電子部品用途などが好調に推移しました。エンジニアリングプラスチックは、主力の自動車用途が回復し好調に推移しました。

Industrial Materials 産業マテリアル事業



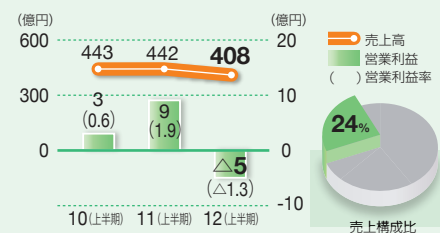
エアバッグ用基布は、自動車生産台数の回復に伴い、好調に推移しました。タイヤコードは、ユーザーの国内生産調整などの影響を受けました。スーパー繊維では、「ダイニーマ®」は一部用途で中国品参入などの影響を受けましたが、「ザイロン®」は耐熱材料向け販売拡大により売上を伸ばしました。機能フィルター事業では、VOC処理装置は、主に中国の需要増を見込んでいたものの、欧州向け製品輸出低迷による設備投資案件遅延の影響を受けました。長繊維不織布は、自動車用途が回復し、堅調に推移しました。

Life Science ライフサイエンス事業



バイオ事業では、主力製品である診断薬用酵素が、期初に国内外ユーザーの在庫調整影響を受け、足元は回復しているものの、販売数量が減少しました。メディカル事業においては、医薬品製造受託事業での注射剤案件は堅調に推移しました。機能膜事業においては、医用膜は、第1四半期の販売が減少しましたが、第2四半期では回復しました。海水淡水化用逆浸透膜は、交換膜の出荷が堅調に推移しましたが、円高の影響を受けました。

Textiles 衣料繊維事業



ナイロン関連事業は円高影響と市況低迷により苦戦しましたが、スポーツ向け製品は順調に推移しました。テキスタイルでは、クールビズ向けの吸汗速乾性のニットシャツが順調に推移しました。中東向けの特化生地は販売数量を伸ばしたものの、長引く円高の影響を受け苦戦しました。アクリル繊維は中国の内需低迷により販売数量が大幅に減少しました。また、当期前半に、一部の子会社で、国内消費の低迷を考慮した商品ライフサイクルの見直しを行い、棚卸資産の評価減を実施しました。

Others 不動産事業 その他事業



当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

topics トピックス

中国のエアバッグ用基布の製造・販売会社が本格稼働

当社と豊田通商株式会社が中国江蘇省に合弁で設立したエアバッグ用基布の製造・販売会社が2012年4月より本格稼働しました。中国市場でのエアバッグ事業拡大の拠点として、日系を中心に現地の自動車部品メーカーに販売を拡大していく予定です。



ペットボトルリサイクル樹脂の使用比率 世界最高レベルのPETフィルムを開発

リサイクル樹脂比率を80%まで高めた「サイクルクリーン™」を開発しました。これによりCO₂排出量を従来比約40%削減することができます。

今後はペットボトル用ラベル向けの販売を拡大するとともに、当社が国内で大きなシェアを持つ印刷基材やラミネート基材用途へも拡大していきます。





特集

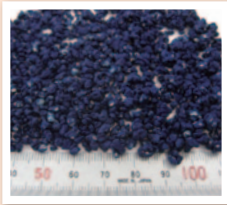
震災復興対策チームが 除染対応資材を開発

当社グループは、東日本大震災の復興支援を目的に、「震災復興対策チーム」を結成し、グループ各社の技術を活かして放射性物質などの除染対応資材の製品開発を進めております。

汚染水の
処理

プルシアンブルー「PB-Z」

ゼオライト（鉱物）の表面をプルシアンブルー（セシウムを選択的に吸着する性質がある顔料）で被覆したものです。袋に詰め、水田などの水溜りや、灌漑水などの貯水槽、集水桝などに一定期間投入し汚染水を処理します。



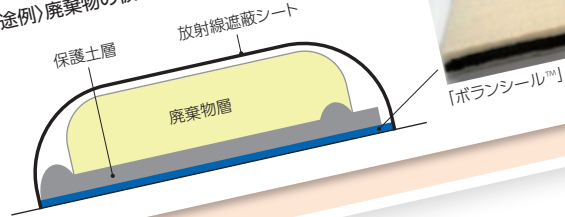
「PB-Z」



「PB-Z」を詰めた袋

放射線の
外部流出を
軽減

〈用途例〉廃棄物の仮置き場用シート



セシウム吸着性シート「ポランシール™」

放射線遮蔽シート

放射線を遮蔽する硫酸バリウムやタングステンを練り込んだゴムシートです。鉄やコンクリートなどの遮蔽材に比べて柔軟性があり、環境負荷物質を含んでいません。

ポリエステル長繊維不織布（спанボン）に吸水性アクリル繊維を複合したシートです。がれきなどから水分と共に漏れ出すセシウムを吸着し、外部流出を軽減します。万一、釘などで穴が開いた場合でも、吸水により繊維が素早く膨潤するため、穴からの流出を抑えます。

セシウムの
吸着

セシウム吸着機能付き防草シート

プルシアンブルーをポリエステル長繊維不織布に塗布した防草シートです。隣接する山林などからの流入水のほか、落ち葉やその腐敗物などに含まれているセシウムを吸着し、拡散防止を目的に、住宅周辺など除染後のエリアに敷設します。



今後も製品開発を通して、復興支援に少しでもお役に立てるよう取り組んでいきます。

ポリアミンを含有する大豆胚芽由来の 化粧品原料を世界で初めて開発

近年、化粧品原料は安全性の観点などから、化学合成原料ではなく、天然系原料の需要が高まっています。当社は、ポリアミンを含有する大豆胚芽由来の化粧品原料「ファイトポリアミン®-S」を世界で初めて開発し、エイジングケア素材として2012年7月から販売を開始しました。

ポリアミンを添加した水と無添加の水にバラの切り花を挿し10日経過後の鮮度差



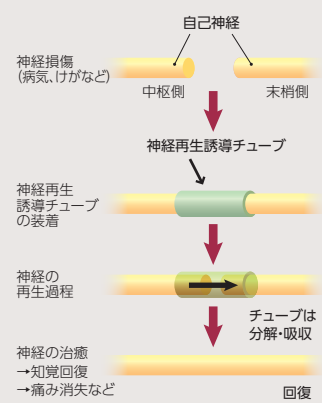
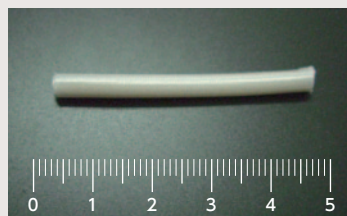
ポリアミン添加

水(ポリアミン無添加)

※ポリアミン・・・肌の老化防止を防ぐアンチエイジング素材として注目されています。

損傷した神経を再生する新しい治療用医療機器 「神経再生誘導チューブ」を開発

病気や事故などで損傷した神経の再生を促進させる治療用医療機器「神経再生誘導チューブ」を開発しました。現在、2013年春の販売開始に向けて公的な審査を受けています。



会社の概要・株式の状況 (2012年9月30日現在)

社名 東洋紡績株式会社
(10月1日より東洋紡績株式会社)
 英文社名 TOYOBO CO., LTD.
 証券コード 3101
 創立 1882年(明治15年)5月3日
 設立 1914年(大正3年)6月26日
 資本金 51,730,003,166円
 本社 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
(代表 06-6348-3111)
 東京支社 東京都品川区東五反田二丁目10番2号
 名古屋支社 名古屋市中区栄三丁目2番3号
 従業員数 連結 10,773名 単体 3,233名

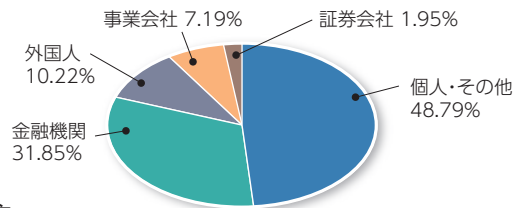
役員

代表取締役社長	社長執行役員	坂元龍三
代表取締役	専務執行役員	三好文章
取締役	常務執行役員	高橋寛
取締役	常務執行役員	香山和正
取締役	執行役員	香榎原誠之
取締役	執行役員	松井敬之
取締役	執行役員	矢野邦男
取締役	執行役員	佐野茂樹
取締役	*注1	荻村道男
監査役(常勤)		矢吹和節
監査役(常勤)		下道節
社外監査役	*注2	西浦洋
社外監査役	*注2	今中博

(注1) 取締役のうち荻村道男氏は社外取締役であります。
 (注2) 監査役のうち西浦洋氏および今中博氏は社外監査役であります。

■発行可能株式総数 2,000,000,000株
 ■発行済株式の総数 890,487,922株
 (自己株式1,894,110株含む)
 ■株主数 100,934人

株式分布の状況(所有者別)



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	38,238	4.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,504	4.00
日本生命保険相互会社	21,885	2.46
東友会	16,410	1.85
東洋紡績従業員持株会	13,441	1.51
株式会社みずほコーポレート銀行	13,393	1.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,214	1.49
株式会社三井住友銀行	13,034	1.47
明治安田生命保険相互会社	11,029	1.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口)	9,054	1.02

(注) 持株比率は、自己株式(1,894,110株)を控除して計算しております。

関係会社

	国内	海外	計
連結子会社	36	18	54
持分法適用会社	6	4	10
計	42	22	64

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
(期末の配当金受領株主確定日 3月31日)
 定時株主総会 6月に開催いたします。
 基準日 定時株主総会の基準日は3月31日といたします。
 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
 単元株式数 1,000株
 公告掲載ホームページアドレス <http://www.toyobo.co.jp/>
 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

各種手続のお申出先

- 住所変更、名義変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま(下の区分を除く)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (左記、照会先をご参照ください。)
御幸ホールディングス株式会社との株式交換により当社株主となられた特別口座の株主さま	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

※証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。なお、2009年9月1日付、当社と御幸ホールディングス株式会社との株式交換により当社株主となられた場合は、御幸ホールディングス株式会社において特別口座が開設された三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

- 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元未満株式(1~999株)をお持ちの方へ

単元未満株式をお持ちの場合、当社に対して、次の請求を行うことにより、売却または1,000株におまとめいただくことができます。ぜひ、以下の制度をご利用ください。

買取制度 単元未満株式の買取を請求する。
買増制度 単元株式(1,000株)にするため、不足する株数の株式の売り渡しを請求する。

(例)当社株式650株をお持ちの場合



お手続方法につきましては、上記のお申出先へお問合せください。